

検討委員会が答申

公の施設、町総合体育館など10施設

役場町長室で7月30日、「町

公の施設のあり方検討委員会」を代表し、井田貴志会長が住永町長に対して答申しました。

答申内容は、レクリエーション・スポーツ施設に指定管理者制度導入を図るもので、井田会長が答申書を読み上げ、町長に渡しました。

町長は「答申を尊重し、施設の方向性を決定したい」と応え

●答申内容

- ①経費削減および町民サービスの観点から、早期に指定管理者制度の導入を図ること。
- ②指定管理者制度の導入形態については、現行の住民サービスを後退させないことを前提に、施設の全てに指定管理者制度を導入する一括型での導入を図ること。



町長に答申書を受け渡す井田会長



要望活動が行われた国際線振興協議会通常総会(ソウル市内)

韓国ソウルで要望活動

阿蘇くまもと空港国際線振興協議会

大韓民国ソウル市で7月26日、平成25年度阿蘇くまもと空港国際線振興協議会通常総会が開催されました。

総会には、本町を含め17団体が出席。蒲島郁夫会長が、「阿蘇くまもと空港は、本県の経済的発展を支え、けん引する核の一つ。将来の州都にふさわしい空港を目指すうえで、国際線振興は重要な課題。『ア

ジアとつながる』を目標に掲げ積極的に推進する」とあいさつ。熊本⇄ソウル間の定期便(週3回)の利用者数の伸び悩みを解消するために、定期便を増便して欲しいと、アジアナ航空に対し要望活動を行いました。同協議会は、熊本⇄ソウル線利用者へ各種助成を行っていきます。問い合わせ先は事務局 ☎ 333・2165まで。

道の白線をきれいに

町交通安全協会がボランティア



白線を塗り直す交通安全協会のみなさん

町交通安全協会福田支部(安尾新一会長)が8月18日、ボランティア作業を行いました。

同協会員15人が行ったのは、塗料が剥がれて消えかかった道路上の「止まれ」の文字や白線の引き直し作業。当日は気温35度を超す猛暑日の中、約半日を使った入念な作業が行われました。

歩行者やドライバーが、道路上にある白線や文字の見落としに

よって起こす交通事故を未然に防ぐ目的で行われています。

同協会員は、竹ぼうきを使って既存の白線をきれいに清掃。剥がれにくい特殊な塗料をローラーやハケなどで塗っていきまし。額に汗しながら福田校区全域の白線を塗り直しました。

同協会では、白線引き直しをはじめ、カーブミラー磨きなど年間を通じて行っています。